

題材 「食べ残しはなぜいけない？～食べ物はどこから来るの？～」

対象：小学校高学年

題材設定の背景

日本人の食生活は飽食しており，食事の食べ残しや消費されない食品が増えている。日本の食料自給率(カロリーベース)は4割程度で6割を外国からの輸入に頼っているが，その輸入食品の約7割は食べ残している計算になるという。さらに海外に依存した食糧生産がその地域の環境破壊を引き起こしているという状況さえある。本時の資料，動画「いただきますと言えた日～卓也ともう一つの世界(16分程度)」は，好き嫌いをして夕食を食べずに家を飛び出した主人公卓也が，もう一つの世界(食糧輸入の途絶えた日本)に入り込んで様々な体験をするという話である。卓也の体験を通して，食料資源に対する理解を深めさせたい。

ねらい

日本の食糧事情を知り，食べ物が貴重な資源であることを自覚し，大切にしようとする態度を育てる。

	活動の内容	主な指導・支援
活動の開始(7分)	<p>給食の残量調査結果を見て，給食を残すとどんな問題があるか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いつも残す人は栄養が偏ったり，不足したりする ・残った給食はごみになり，その処理にもお金がかかる ・片付けが大変になる ・作った人ががっかりする <p>本時の活動のねらいを知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・(給食の残量の全体量を把握させ，残量が多いことに気付かせる) ・給食はその日のうちに処分しなければならない。 ・食べ物はリサイクルが難しく，食べられなかった食品はごみにしかならないことに気付かせる。 ・作っている人の気持ちを栄養士から述べてもらう。 ・食べ物を残すことは個人の問題だけでなく，他人や社会へと問題が波及することをおさえる。 <p>・このように日本では，たくさんの食べ物を捨てていることにふれ，自分たちで解決すべき課題であることに気付かせ，本時のねらいへとつなぐ。</p>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 食べ残しの問題について考えて，どうすればよいか解決方法を見付けよう。 </div>	
活動の展開(35分)	<p>「食べ物を残してしまう」理由を考える。(原因・気持ちを整理する)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・量が入らない，時間がない ・体調が悪い ・嫌いである ・考えない，何となく など <p>日本の食糧事情について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自給率が低い，輸入に頼る ・和食でも，実は輸入食品である ・期限切れで捨てられる食品の多さ <p>もし，輸入が途絶えたら・・・どうなるか，どうすれば良いかについて考える。</p> <p>「動画視聴(16分)」</p> <p>「食べ残し」を減らす対策を考える(に戻って考える)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・どんな場合に食べ残しているか，振り返らせる。 ・給食に限定せずに，広い視野で考えさせる。 ・あまり深く考えないで残すことから，捨てる食べ物が増えていくことに気付かせる。 <p>・子どもが良く食べている献立を1つ例にあげ，どれくらい日本が自給できているのか，視覚的に知らせる。</p> <p>・日本は，たくさんの食糧を世界中から買っていること，そして無駄にしていることを知らせる。(賞味期限切れで廃棄されている)</p> <p>・「資料(動画): いただきますと言えた日～卓也ともう一つの世界～16分」を視聴させ，気付いたことを発表させる。</p> <p>・食べ物が貴重な資源であること，国内での生産量を上げることの大切さ，自分でできることとして，食べ物を大切にすることをおさえる。</p> <p>・自分でできること(努力)と友達に協力してもらうとできること，社会として取り組むことに分けて考えさせる。</p> <p>・食品アレルギーの生徒がいる場合は，個人の努力で簡単に解決できる問題ではないことに配慮する。</p>
まとめ(3分)	<p>今日の活動で考えたこと，これから実行したいことをまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合ったことを確認し，個人の決意を明確にさせる。

備考	時前の活動
	資料の出典について

- ・ クラスで給食の残量調査を実施したり，学校全体の給食の残量調査結果を利用したりする。
（クラスでの残量が多い場合）
- ・ の活動については社会科と連携を図り，理解の程度に応じて資料を示す。
- ・ 関連資料出典のサイト：「日本ユニセフ協会」「子どものための農業教室 / ジュニア農林水産白書」「WFP（国連世界食糧計画）日本事務所(<http://www.wfp.or.jp>)」ホームページ / 学校給食プログラム / ハンガーマップなど